

2020年8月期決算説明会資料



目次

2020年8月期決算概況（連結）	2
2020年8月期決算概況（セグメント）	6
業績見通し（連結）	10
中期経営計画（2019年8月期～2021年8月期）の概要	11
M&Aの推進	12
配当方針	15
補足資料	16

2020年8月期決算概況（連結）

（単位：百万円）

	2019.08期	2020.08期					
		計画	実績	前年同期比		計画比	
売上高	13,473	8,000	8,389	△ 5,083	△37.7%	+ 389	+4.9%
売上総利益	3,385	1,780	2,005	△ 1,380	△40.8%	+ 225	+12.7%
（売上総利益率）	(25.1%)	(22.3%)	(23.9%)	—	(△1.2P)	—	(+1.7P)
営業利益	1,954	550	741	△ 1,212	△62.1%	+ 191	+34.8%
（営業利益率）	(14.5%)	(6.9%)	(8.8%)	—	(△5.7P)	—	(+2.0P)
経常利益	1,976	550	758	△ 1,218	△61.6%	+ 208	+37.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,309	360	533	△ 776	△59.3%	+ 173	+48.1%

2020年8月期決算概況（連結）

売上高は8,389百万円（前年同期比37.7%減）

- 新規取引先の開拓や既存取引先の深耕に積極的に取り組みましたが、太陽電池アレイ支持架台の大型案件の一定の引き合いはあるものの受注は減少し、売上高は8,389百万円。なお、当社グループにおける新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に起因する直接的な影響は軽微でありました。

受注残高は3,018百万円（前年同期比11.1%減）

- 金属加工事業は2,501百万円（前年同期比0.3%減）、ゴム加工事業は78百万円（同5.5%減）、建設事業は438百万円（同45.4%減）となり、合計3,018百万円で前年同期比11.1%の減少。

営業利益は741百万円（前年同期比62.1%減）

- 売上高の減少に伴い、営業利益は741百万円（営業利益率8.8%・前年同期比5.7 P 減）。

当期純利益は533百万円（前年同期比59.3%減）

2020年8月期決算概況（連結）

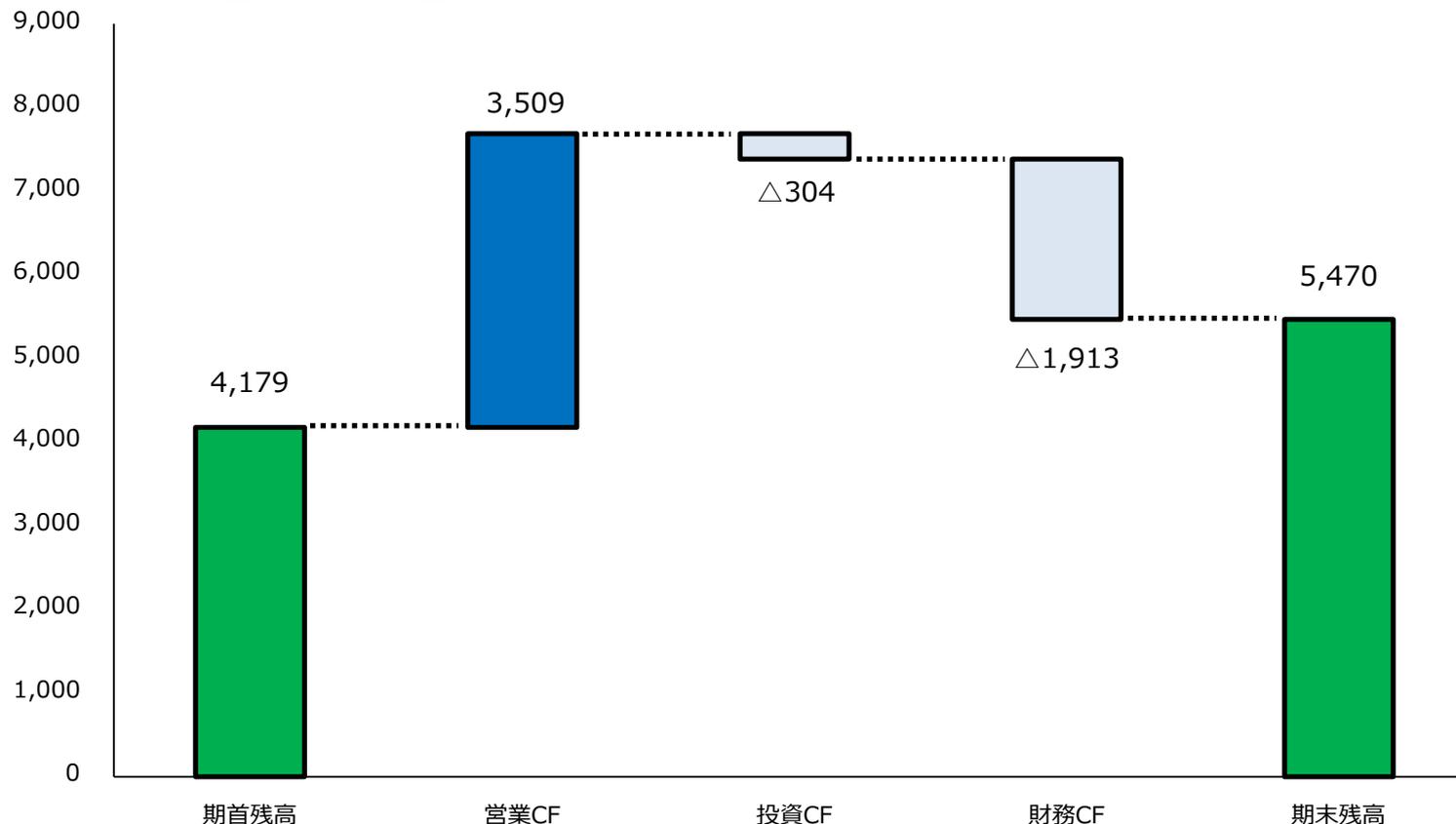
（単位：百万円）

	2019.08期	2020.08期	増減	主な要因
流動資産	11,028	9,142	△ 1,886	現金及び預金1,365、原材料及び貯蔵品108、受取手形及び売掛金△2,850、完成工事未収入金△281、仕掛品△166、未定工事支出金△98
固定資産	3,426	3,144	△ 281	建物及び構築物227、建設仮勘定△178、機械装置及び運搬具△157、無形固定資産△115
資産合計	14,454	12,287	△ 2,167	
流動負債	4,032	1,703	△ 2,328	短期借入金△1,590、未払法人税等△383、工事未払金△105
固定負債	1,352	1,134	△ 217	長期借入金△130
負債合計	5,384	2,837	△ 2,546	
自己資本合計	9,039	9,375	+ 335	利益剰余金340
新株予約権	30	74	+ 43	
純資産合計	9,070	9,449	+ 378	
負債純資産合計	14,454	12,287	△ 2,167	
自己資本比率	62.5%	76.3%	+13.8P	

2020年8月期決算概況（連結）

(単位：百万円)

■ 増加 □ 減少



■ 営業キャッシュフロー3,509

税金等調整前当期純利益765
減価償却費372
売掛債権の減少3,093
たな卸資産の減少226
仕入債務の減少△181
法人税等の支払額△668

■ 投資キャッシュフロー△304

有形固定資産の売却による収入63
定期預金の純増△74
有形固定資産の取得による支出△272

■ 財務キャッシュフロー△1,913

長期借入れによる収入108
短期借入金の純減△1,590
長期借入金の返済による支出△192
配当金の支払額△192

2020年8月期決算概況（セグメント）

（単位：百万円）

	2019.08期	2020.08期	前年同期比	
売上高	13,473	8,389	△ 5,083	△37.7%
金属加工事業	10,026	5,997	△ 4,028	△40.2%
ゴム加工事業	1,196	1,165	△ 30	△2.6%
建設事業	2,250	1,226	△ 1,023	△45.5%
セグメント利益	2,373	1,047	△ 1,325	△55.9%
金属加工事業	1,900	735	△ 1,164	△61.3%
ゴム加工事業	180	188	+ 8	+4.6%
建設事業	292	122	△ 169	△58.0%
調整額	△ 418	△ 305	+ 112	—
営業利益	1,954	741	△ 1,212	△62.1%

（注）調整額（セグメント利益の合計額と営業利益との差異）は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用

2020年8月期決算概況（セグメント）

金属加工事業 売上高5,997百万円（前年同期比40.2%減）

- 太陽電池アレイ支持架台の大型案件の一定の引き合いはあるものの受注は減少し、売上高は5,997百万円（前年同期比40.2%減）、セグメント利益は735百万円（同61.3%減）、当連結会計年度末における受注残高は2,501百万円（同0.3%減）。

ゴム加工事業 売上高1,165百万円（前年同期比2.6%減）

- 新規取引先の開拓が難しい状況の中、既存取引先のリピートに積極的に取り組み、建設関連、土木関連、工業関連、自動車関連等の各種業界向けの製品が堅調に推移し、売上高は1,165百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益は188百万円（同4.6%増）、当連結会計年度末における受注残高は78百万円（同5.5%減）。

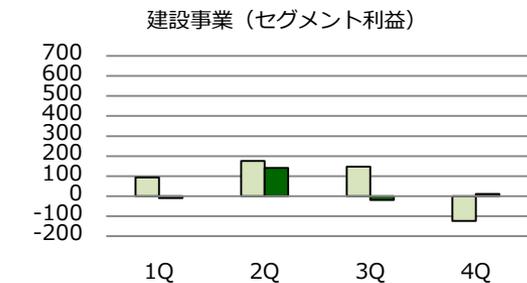
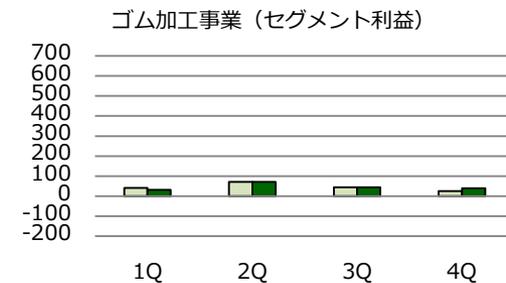
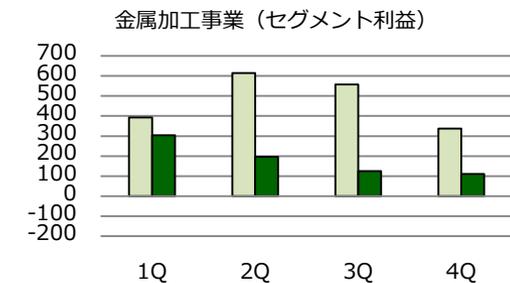
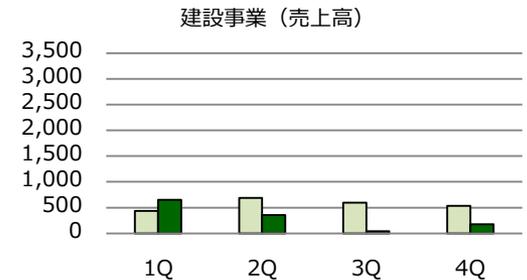
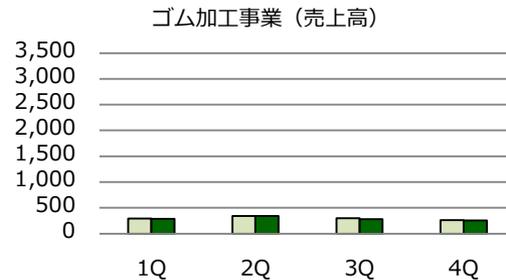
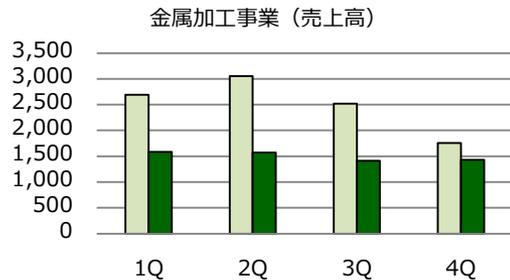
建設事業 売上高1,226百万円（前年同期比45.5%減）

- グループ間の情報連携を図り、材工一括受注を掲げ営業活動に取り組んだものの、太陽電池アレイ支持架台の受注減少に伴う設置工事の減少により、売上高は1,226百万円（前年同期比45.5%減）、セグメント利益は122百万円（同58.0%減）、当連結会計年度末における受注残高は438百万円（同45.4%減）。

2019年8月期決算概況（セグメント）

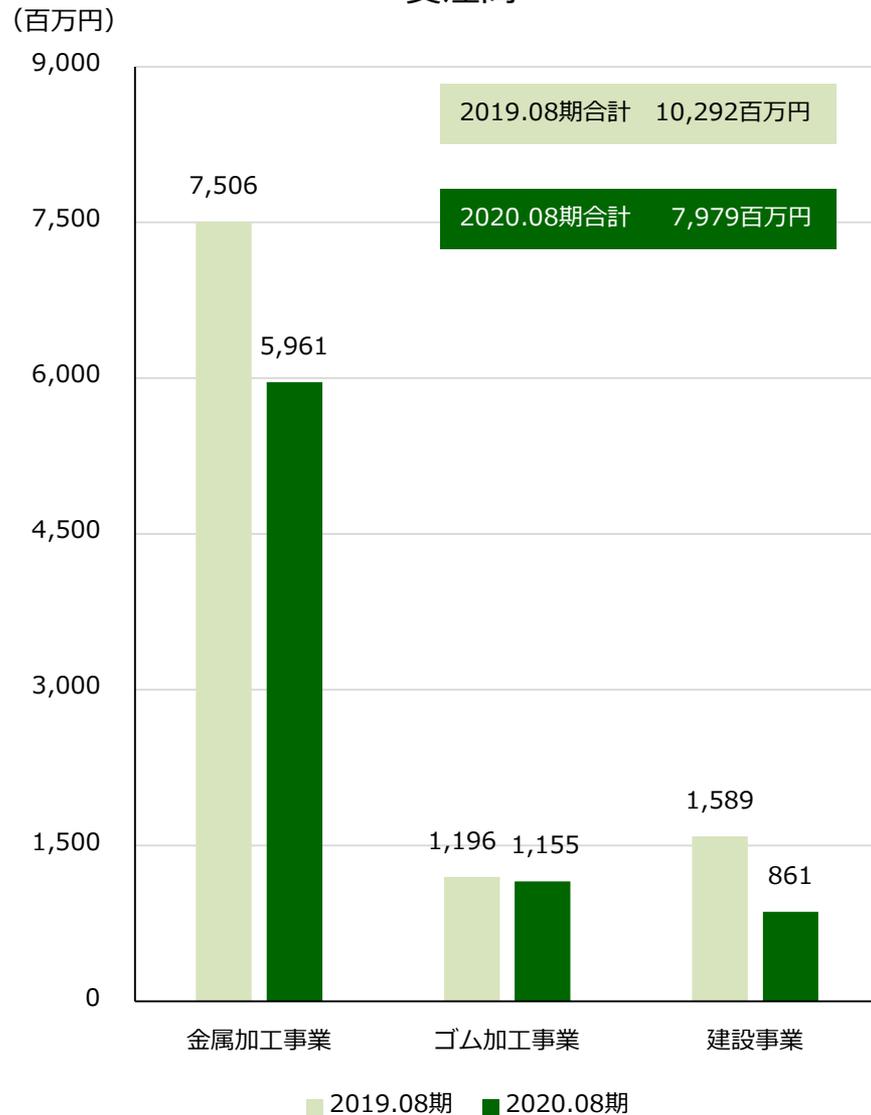
（単位：百万円）

	1Q		2Q		3Q		4Q		通期	
	2019.08期	2020.08期								
売上高	3,420	2,523	4,084	2,270	3,415	1,735	2,552	1,860	13,473	8,389
金属加工事業	2,693	1,582	3,054	1,571	2,522	1,413	1,756	1,430	10,026	5,997
ゴム加工事業	291	289	344	341	301	279	259	254	1,196	1,165
建設事業	435	652	685	356	592	42	536	175	2,250	1,226
セグメント利益	526	326	860	408	748	151	237	160	2,373	1,047
金属加工事業	392	304	613	195	557	125	336	110	1,900	735
ゴム加工事業	41	32	70	71	43	45	24	39	180	188
建設事業	92	△ 9	175	140	147	△ 18	△ 123	10	292	122
調整額	△ 97	△ 58	△ 80	△ 75	△ 87	△ 76	△ 153	△ 95	△ 418	△ 305
営業利益	429	268	780	332	660	75	84	65	1,954	741
営業利益率	12.5%	10.6%	19.1%	14.7%	19.3%	4.3%	3.3%	3.5%	14.5%	8.8%

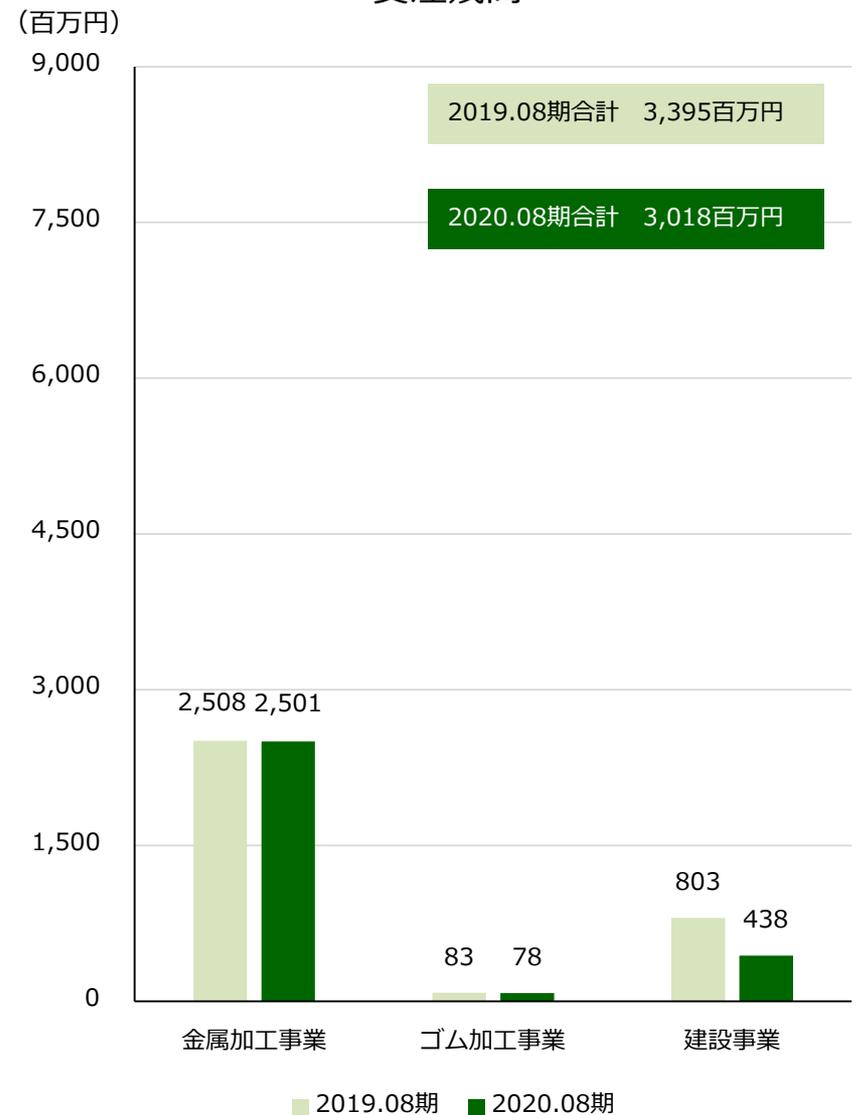


2020年8月期決算概況（セグメント）

受注高



受注残高



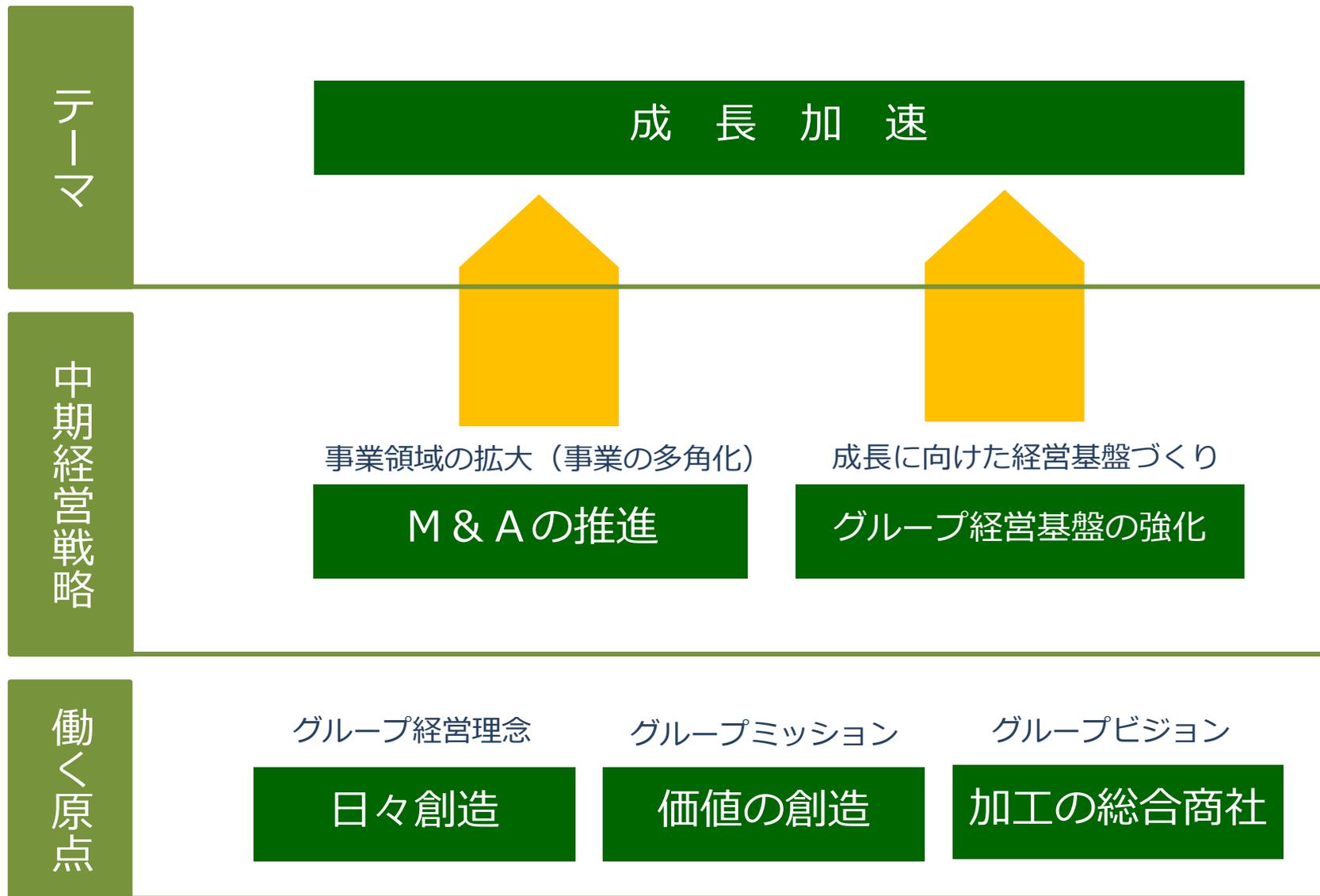
業績見通し（連結）

- (1) 金属加工事業における太陽電池アレイ支持架台の大型案件については当連結会計年度と同程度、耐火パネル等の金属パネルについては堅調に推移する見込み。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響が金属加工事業及びゴム加工事業において一部見受けられるものの、当社グループ全体への影響については限定的で軽微なものになると想定しており、売上高は8,800百万円（前年同期比4.9%増）。
- (2) 営業利益は、増収に伴い、780百万円（同5.2%増）、営業利益率は前年同期と同程度の8.9%。
- (3) 親会社株主に帰属する当期純利益は、530百万円（前年同期比0.6%減）。
- (4) 引き続きM&A戦略を積極的に推進、事業領域の拡大を目指す（M&Aの数値は計画に含めておりません）。

（単位：百万円）

	2020.08期	2021.08期		
		計画	前年同期比	
売上高	8,389	8,800	+ 410	+4.9%
金属加工事業	5,997	6,322	+ 325	+5.4%
ゴム加工事業	1,165	977	△ 188	△16.1%
建設事業	1,226	1,500	+ 273	+22.3%
売上総利益	2,005	2,030	+ 24	+1.2%
（売上総利益率）	(23.9%)	(23.1%)	-	(△0.8P)
営業利益	741	780	+ 38	+5.2%
（営業利益率）	(8.8%)	(8.9%)	-	(+0.0P)
経常利益	758	790	+ 31	+4.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	533	530	△ 3	△0.6%

中期経営計画（2019年8月期～2021年8月期）の概要



M & Aの推進

M&Aの推進

- (1) M & A ・ アライアンスによる事業領域の拡大（事業の多角化）
- (2) 3年間で上限50億円のM & A ・ アライアンスに係る戦略投資枠の再設定

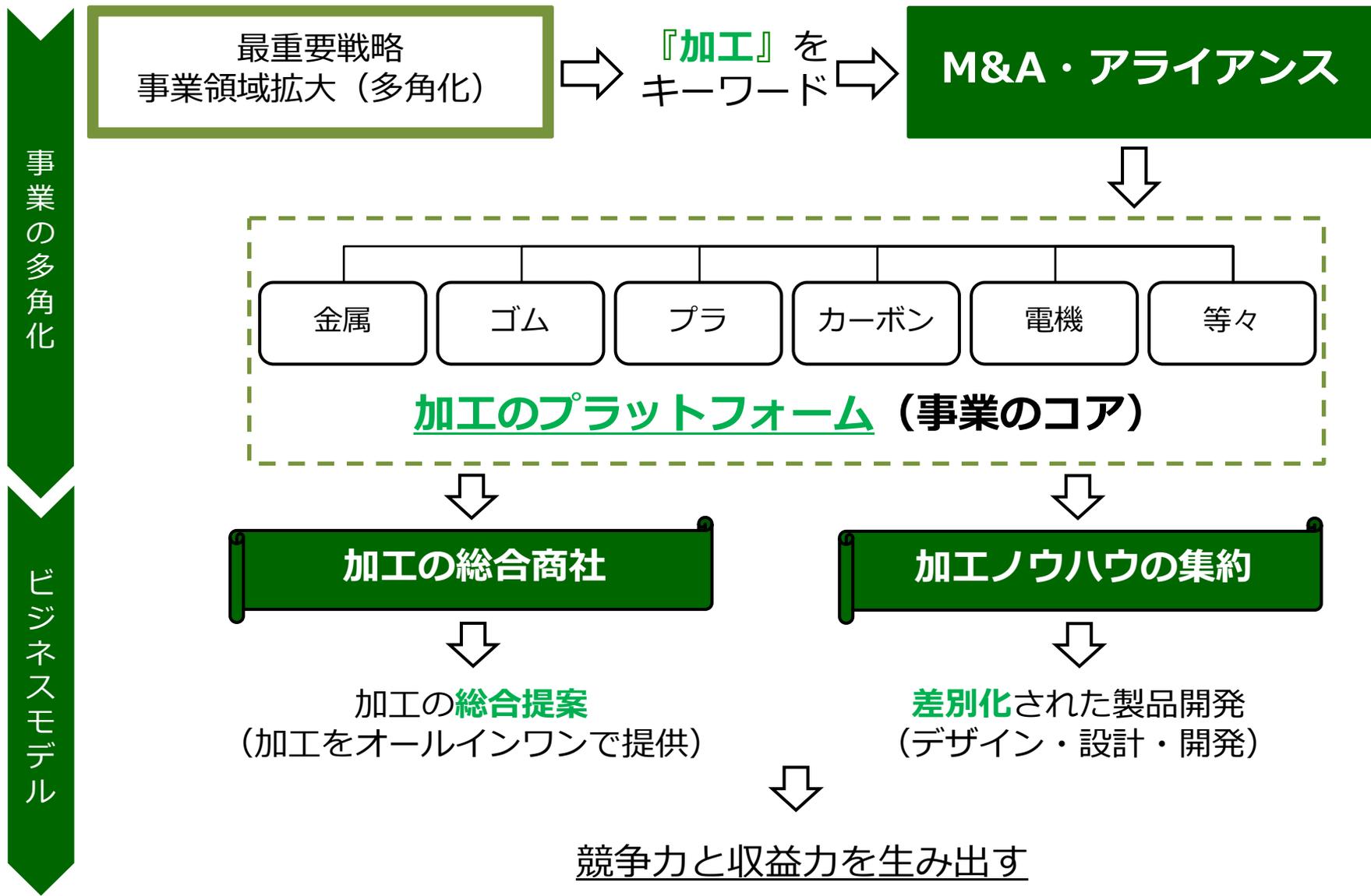
(1) M & A ・ アライアンスによる事業領域の拡大（事業の多角化）

- 「加工」をキーワードに、素材を問わず加工技術・ノウハウを集め、モノづくり、周辺事業へと積極的に事業領域を拡大し、「加工のプラットフォーム」を創出
 - ※2016年3月：吾孺ゴム工業株式会社（ゴム加工事業）を子会社化
 - ※2017年4月：綾目精機株式会社（金属加工事業）を子会社化
 - ※2018年3月：株式会社ダイリツ（金属加工事業）を子会社化
- 現中計スタートの2018年9月以降、M&Aの案件情報は200件超

(2) 3年間で上限50億円のM & A ・ アライアンスに係る戦略投資枠の再設定

- 経営の機動性を高めるため、3年間（2019年8月期～2021年8月期）で上限50億円の戦略投資枠を再設定し、成長を加速。
- 前中計で設定した戦略投資枠をリセットし、同額で再設定
 - （前中計実績） ※吾孺ゴム工業株式会社 投資額900百万円
 - ※綾目精機株式会社 投資額480百万円
 - ※株式会社ダイリツ 投資額 51百万円
 - 合計1,431百万円

M & Aの推進方針



M & Aの推進方針

推進方針

- (1) 金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大（事業を多角化）
- (2) 連携体制を強化し、業績向上とグループ管理体制を構築



情報入手先

銀行・証券会社・専業会社等から、M&A情報を入手

検討

シナジー、投資リスク、投資採算、条件等を社内プロジェクトチームにて検討

クロージング

基本合意・デューディリジェンス・機関決定・適時開示・最終合意を経てクロージング

P M I

連携体制を強化し、業績向上とグループ管理体制を構築

配当方針

配当に関する基本的な考え方

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識し、今後の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行う。

(円. 銭)

	2017.08期 (実績)	2018.08期 (実績)	2019.08期 (実績)	2020.08期 (予想)	2021.08期 (予想)
記念配当	—	—	5.0	—	—
特別配当	—	5.0	—	—	—
普通配当	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
計	25.0	30.0	30.0	25.0	25.0
配当性向	28.4%	23.4%	14.7%	30.1%	30.3%



2020年8月期決算説明会補足資料

会社概要

2020年8月31日現在

- 商 号 : 日創プロニティ株式会社 (英文表記 : NISSO PRONITY Co., Ltd.)
- 本 社 : 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野2-10-25
- 事 業 内 容 : 金属加工事業、ゴム加工事業、建設事業
- 営 業 拠 点 : 本社、東京営業所、福島営業所
- 製 造 拠 点 : 山田工場 (福岡県嘉麻市)、福島工場 (福島県石川郡)
- 関 連 会 社 : 吾孺ゴム工業株式会社 (群馬県)、日創エンジニアリング株式会社 (東京都)
綾目精機株式会社 (広島県)、株式会社ダイリツ (愛知県)
- 代 表 者 : 代表取締役社長 石田 徹
- 設 立 : 1983年9月
- 資 本 金 : 1,176百万円
- 市 場 区 分 : 東京証券取引所市場第二部、福岡証券取引所 証券コード : 3440
- 発行済株式数 : 7,360,000株
- 決 算 日 : 8月31日



ISO9001

グループ経営理念

日々創造

当社の創業の精神であり社名の由来でもある「日々創造」は、日創グループに所属する私たちの精神的支柱であり、また日々の業務の現実的な指針です。私たちは、短期的な課題に対しても、長期的な課題に対しても、「日々創造」する企業集団であり続けます。

創業の精神



「日々創造」
グループ経営理念



日々の業務
の現実的な
指針

あらゆる課題に



チャレンジ

「日々創造」する企業集団

「日々創造」

グループ経営理念のもと

グループミッション

価値の創造

(社会貢献)

私たちは、金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大し（事業の多角化）、**新たな価値を創造**していくことを通じて、社会に貢献してまいります。

グループビジョン

加工の総合商社

(挑戦)

「加工の総合商社」が私たちの進むべき方向であり、常に追い求める企業グループ像です。私たちは、グループビジョンに向かって、**エンドレスに挑戦**を続けます。

沿革

2019.07月 東証二部 上場

2018.03月 ダイリツを子会社化

2017.04月 綾目精機を子会社化

2016.04月 日創エンジニアリング設立
2016.03月 吾嬬ゴム工業を子会社化

2014.06月 福島営業所開設
2014.03月 福島工場新設 (東日本の製造拠点)

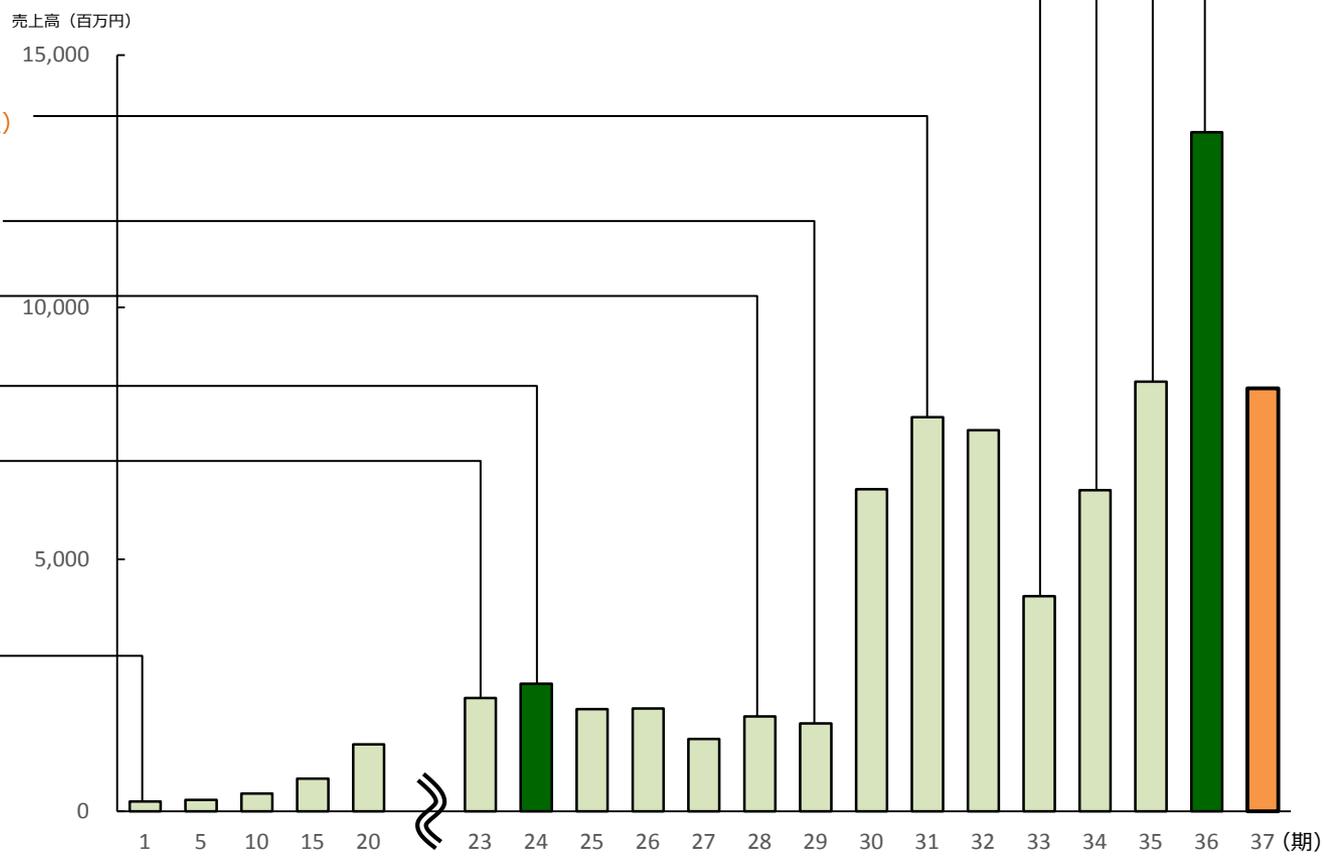
2012.07月 FITスタート
(再生エネルギー固定買取制度)

2011.02月 東京営業所開設
(全国展開スタート)

2007.08月 福岡Q-Board 上場

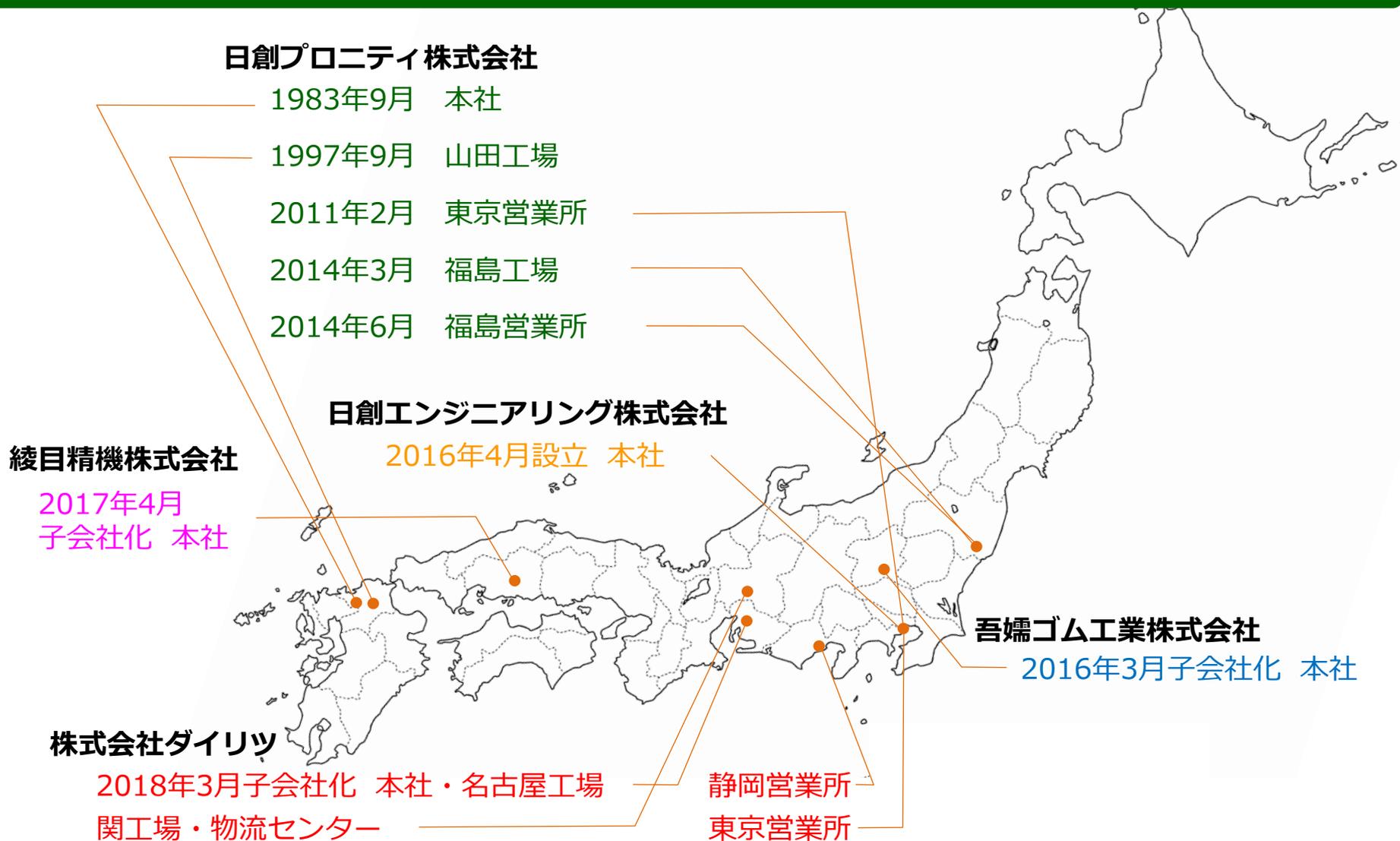
2007.03月までに山田工場を第5工場まで増設 (西日本の製造拠点)

1983.09月 設立・山田工場新設

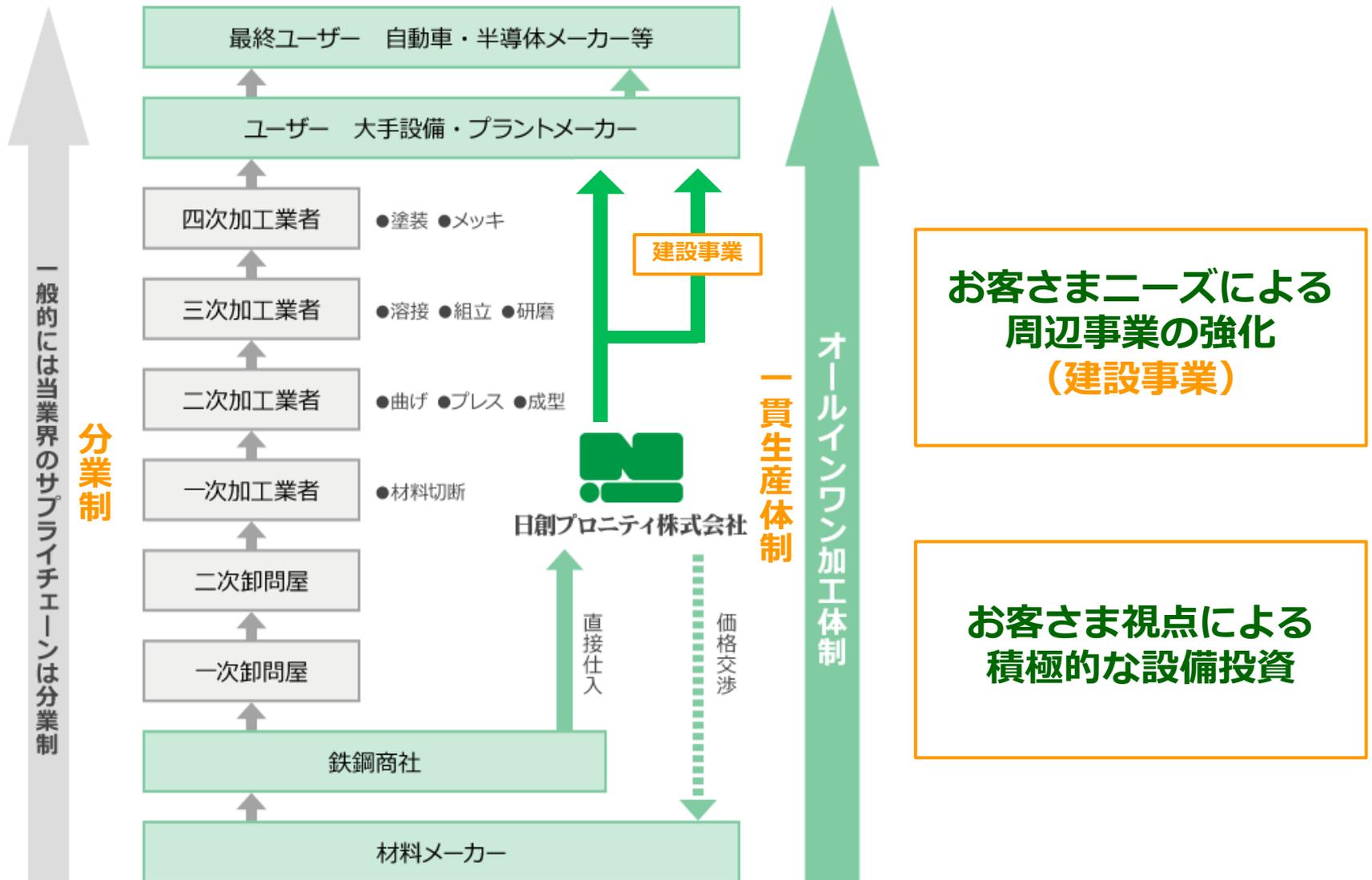


日創プロニティグループの拠点

積極的な全国展開



日創プロニティグループの強み



金属加工事業

建築・建材、環境・エネルギー、工場・プラント、駐車場、仮設・プレハブ、半導体、農業、畜産、車輛部品等広範囲な業界に向けて各種金属加工製品を提供。

オーダー加工品 = ユーザーからの多様な個別仕様のオーダーに基づく製品

「オールインワン加工体制」の持つメリットを最大限に活用し、顧客のニーズに対応。主要製品としては、太陽電池アレイ支持架台、太陽光発電システム搭載型カーポート（ソーラーネオポート）、耐火パネル、内外装パネル等の各種金属パネル。



①太陽電池アレイ支持架台



②天井パネル（内外装パネル）



③レジストウォール（耐火パネル）

企画品 = 一定の規格に基づく 量産可能品

ユーザーに対して提案商品として企画した製品。主要な製品としては、波板・折板等屋根材、壁材等建築用内外装材、各種金属スレートやデッキプレート等。



⑤金属屋根材



④金属壁材

山田工場

企画品

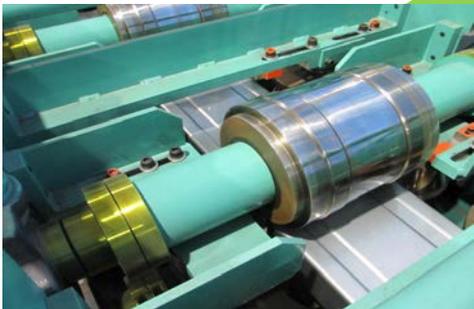
特徴 = 提案商品として企画した製品

第1工場



プレスによる企画品の生産

第2工場



ロールフォーミングによる企画品の生産

敷地面積：35,000m²

プレス・ロールフォーミング・
切断・曲げ・切削・組立・溶接



オーダー加工品

特徴 = 多品種なものを
オーダーにより加工

第5工場



切削・組立・溶接など

第4工場



切断・不燃断熱パネルの生産

第3工場



切断・パンチング・
曲げ・パネル加工など
オーダー加工による
特注品の生産

福島工場

2014年より**東日本のものづくり**を支える

敷地面積：41,418m²



生産設備

- ◆ 太陽電池アレイ支持架台成型ライン ◆ 耐火パネルライン
- ◆ シャーリングマシン ◆ タレットパンチマシン ◆ プレスブレーキマシン
- ◆ レベラーシャーマシン ◆ 各種成型機

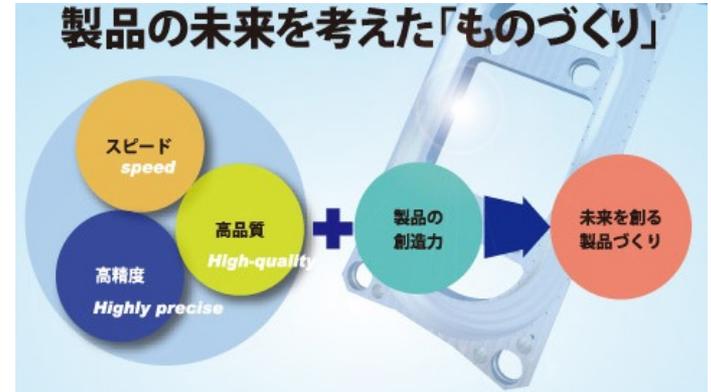
最新鋭マシン（ロータリーインデックス搭載レーザー加工機）を導入

型鋼・パイプの高速かつ高精度加工を可能とするロータリーインデックス装置を搭載し、型鋼・パイプの兼用稼働が実現。加工領域の拡大に向けた、新しいオールラウンドマシンです。



綾目精機株式会社（2017年4月子会社化） 金属精密切削加工業

産業用機械の部品（大型印刷機・医療機器・航空機等の部品）から農業用機械の部品まで、高い切削加工技術を活かし、幅広い分野の多様な受注対応に強み。素材の調達、切削、焼入れ、メッキ、組立てまで一貫した加工を実現。



本 社 : 広島県府中市
代 表 者 : 代表取締役社長
石 田 徹
設 立 : 1988年4月
資 本 金 : 10,000千円
決 算 期 : 7月31日

株式会社ダイリツ（2018年3月子会社化） 空調関連機器製造業

自動制御・防火・防煙等の各種空調用ダンパーをメインに、制御機器、制気口、フード等の製品を展開。

各種プラント・発電所・トンネル等々、多様な用途に対応するオーダーメイドの特殊製品の製造に強み。



風量調節ダンパー、防火ダンパーなど高精度なオリジナルダンパー



カチオン電着塗装ライン



本 社 : 愛知県名古屋市
代 表 者 : 代表取締役社長
山 島 親 幸
設 立 : 1961年5月
資 本 金 : 50,000千円
決 算 期 : 6月30日

吾孺ゴム工業株式会社（2016年3月子会社化）

原料ゴムからの一貫生産を行うゴムメーカーとして、土木製品、一般工業製品、建築製品、車輛用品、道路用品を製造。

ゴムの加工技術やノウハウに裏付けされた豊富な販売実績を有し、景気に左右されない事業基盤と安定した収益力が強み。

本社・工場	:	群馬県藤岡市
代表者	:	代表取締役社長 石田 徹
設立	:	1982年7月
資本金	:	20,000千円
決算期	:	6月30日

自社製品 1995年 阪神淡路大震災後に開発



エキスパンションシール
(駅のホーム)



パイプ継手 エルボ
(重機メーカー向け)

日創エンジニアリング株式会社（2016年4月設立）

当社が「太陽電池アレイ支持架台」や「耐火パネル」を供給し、日創エンジニアリングが設置工事を行うことにより「材工一括受注」体制を構築。材工一括受注体制による当社との連携が、営業提案力向上に貢献。



太陽電池アレイ支持架台（設計、調達、設置工事、電気工事）



耐火/不燃断熱パネル（設計、調達、設置工事、内装仕上げ）



本 社 : 東京都台東区
代 表 者 : 代表取締役社長
大里 和生
設 立 : 2016年4月
資 本 金 : 20,000千円
決 算 期 : 8月31日

お問い合わせ先・ご注意事項

お問い合わせ
先

日創プロニティ株式会社 経営企画室

TEL: 092-555-2825

<https://www.kakou-nisso.co.jp/>

ir@kakou-nisso.co.jp

<ご注意事項>

本資料に記載されている計画、予測又は見通しなど、将来に関する事項等は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、将来の業績等を約束するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。